

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	救急救命士養成事業		担当部署	消防本部 予防課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	救急救命士法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終 期
(小項目)		救急			
施策	3	救急救助・医療体制の充実			
基本事業	1	救急体制の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 救命率の向上を図るため、高度な専門技術を持つ救急救命士を計画的に養成し、市民に安心安全を、提供する。 消防職員のうち、250時間の救急課程修了者で5年以上の実務経験を有する者。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	救急出場時の救命士乗車率を100%にする。また救急救命士の資格を有する職員が実施できる高度な救命処置(特定行為)についてもその質を確保し、維持向上を図るため、講習、研修に派遣する。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	○救急救命士養成のため九州研修所に職員1名を派遣。 ○気管挿管・ビデオ喉頭鏡を使用した気管挿管の病院研修に派遣(1名・2名) ○ICLS・JPTEC・MCLS研修派遣 4名 ○救急救命士の再教育(2年で128時間,内病院研修48時間)														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士の乗車率</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	救急救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
救急救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	ほぼ計画通り。 また、平成27年4月より実施することができる「心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液の投与、血糖値測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与」の講習に3名派遣した。																																																	
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度実績</th> <th>26年度実績</th> <th>27年度目標</th> <th>28年度目標</th> <th>29年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標 実施した事業の活動量を示す指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 救急救命士(実働数)</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急救命士の乗車率</td> <td>98.9</td> <td>99.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td></td> <td>99.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	活動指標 実施した事業の活動量を示す指標							1 救急救命士(実働数)	14	15	17	18	20	名	2							成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標							救急救命士の乗車率	98.9	99.6	—	—	—	%	目標達成率(実績/目標)		99.6	—	—	—	%
指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位																																													
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標																																																			
1 救急救命士(実働数)	14	15	17	18	20	名																																													
2																																																			
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標																																																			
救急救命士の乗車率	98.9	99.6	—	—	—	%																																													
目標達成率(実績/目標)		99.6	—	—	—	%																																													
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり																																																

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	0	3,042	3,042
		全体予算額	0	0	0	0	3,387	3,387
		決算額	0	0	0	0	3,118	3,118
		繰越額						0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,012千円/人)		総人件費		総事業費	
0.1				688	3,806			

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	2,899	3,118	3,377	3,377	3,377
	うち一般財源	2,899	3,118	3,377	3,377	3,377
	人件費	652	688	688	688	688
	総事業費	3,551	3,806	4,065	4,065	4,065

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		救急救命士の乗車率が向上した。
	効率性	B:概ね効率的だった		救急救命士の再教育(病院実習)に、人員不足のため派遣できなかった。
②成果に対する評価	指標名	救急救命士の乗車率		火災・救助出場時に救急出場が重なると現状、本部職員、非番員召集で対応しているが、救急車の救急救命士乗車できない件数が2491件中、11件あった。
	目標	100	%	
	実績	99.6	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		救命士の乗車率は向上したが、技術の維持向上のための病院研修に派遣できなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	救急救命士の実働数を20名にするためには、引き続き救急救命士の養成及び救急救命士の資格を持つ新規職員の採用を行う。また、人員不足による救急救命士再教育の病院研修が派遣できず、市民に安心安全を提供するためには、職員の増員が望まれる。スーパー改革プラン2020(職種別職員数)				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	計画通り。			
	H28年度	計画通り。			